平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月13日

上場会社名　　株式会社フェローテック　　上場取引所　大
コード番号　　6890　　ＵＲＬ　http://www.ferrotec.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山村　章
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役副社長　　（氏名）山村　丈　　ＴＥＬ　03-3281-8186

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	9,503	△49.5	△470	－	△554	－	△663	－
24年３月期第１四半期	18,810	75.8	2,381	141.5	2,360	158.2	1,547	135.3

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　975百万円（△56.9%）　24年３月期第１四半期　2,264百万円（255.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	△21.56	－
24年３月期第１四半期	60.25	58.05

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年３月期第１四半期	73,415	34,750	46.2	1,100.39
24年３月期	72,571	34,186	46.0	1,090.66

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　33,903百万円　24年３月期　33,387百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	20.00	20.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		0.00	－	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	22,000	△38.4	△400	－	△600	－	△650	－	△21.10
通期	50,000	△16.8	1,200	△70.9	800	△75.7	450	△73.8	14.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注)詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：有
④　修正再表示	：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	30,903,702株	24年３月期	26,046,446株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	93,424株	24年３月期	93,344株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	30,801,592株	24年３月期１Ｑ	25,689,955株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性 的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当連結会計年度の第１四半期における経済環境は、日本は、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移することで、緩やかに持ち直しつつあります。一方、海外経済は全体としてなお減速した状態から脱していません。金融危機後の米国経済の回復力は芳しいものとはいえない状況が続いています。欧州でも、ＥＦＳＦ、ＥＳＭが各国政府を介さずに銀行に資本注入することが可能になるとされたことが、危機収束に向けた前進とみなされていますが、回復の道筋は、未だ不透明です。このような経済状況の中、為替は再び円高基調へと推移しております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業は、半導体・ＬＥＤ・ＦＰＤ業界においては、スマートフォンやタブレットＰＣが需要を牽引しています。しかしながら、その中に使用される半導体メモリーなどの取引価格低下に伴い、デバイスメーカーの微細化等への設備投資が一服感を示したため、半導体製造装置メーカーの受注が減少しています。太陽電池業界では、日本をはじめ、その他の世界各国で新たな再生可能エネルギー政策の導入が決まりましたが、主要な市場である欧州各国の政策費の削減により世界的な導入量が減少し、需給バランスが崩れたため製品、部品の大幅な値崩れが生じています。

このような事業環境のなか、当社の装置関連事業におきましては、半導体・ＬＥＤ製造装置や有機ＥＬパネル等のＦＰＤ製造装置向け真空シールにおいて引き続き厳しい状態が続いており、半導体製造プロセスで消費される石英製品やセラミックス製品のマテリアル製品の需要にも回復の兆しが見られません。また、太陽電池関連事業におきましては、シリコン結晶製造装置の受注が大幅に減少し、消耗品である石英坩堝も価格が下落しております。一方、サーモモジュールの応用製品を中心とする電子デバイス事業につきましては、主力の自動車温調シート向けが計画を下回ったものの、民生機器向けの増加等でカバーしました。

この結果、連結売上高は9,503百万円（前年同期比49.4％減）、連結営業損失は470百万円（前年同期は2,381百万円の営業利益）、連結経常損失は554百万円（前年同期は2,360百万円の経常利益）となりました。連結四半期純損失につきましては663百万円（前年同期は1,547百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の３区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

（装置関連事業）

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、小口径シリコンウエーハなどです。

このうち各種製造装置に使用する真空シールにつきましては、半導体メモリーやＦＰＤの価格下落による台湾、韓国のデバイスメーカーの設備投資抑制や、薄型ＴＶのバックライトや照明に使用されるＬＥＤ製造装置向けの需要低迷等の影響を受けて売上が前年同期の実績を下回りました。また、石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用されるマテリアル製品の売上も、半導体の微細化設備投資抑制の影響を受けて減少しました。

この結果、当該事業の売上高は4,453百万円（前年同期比37.9％減）、営業利益は36百万円（前年同期比95.3％減）となりました。

（太陽電池関連事業）

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、角切ソー、石英坩堝、太陽電池用シリコンなどです。

太陽電池市場は欧州の経済危機により、欧州各国政府よる支援等が削減されたことに加え、世界的な需給のアンバランスにより、同製造装置への受注は引き続き減少しています。太陽電池用シリコンにつきましては、太陽電池パネルの在庫消化による換金売りなどが一巡しつつあるものの、価格下落の影響を受け計画を下回りました。また、消耗品である石英坩堝につきましても、販売単価の下落とユーザーの稼働率の低下を受けて売上げが減少しました。

この結果、当該事業の売上高は3,260百万円（前年同期比65.1％減）、営業損失は、たな卸資産の低価法評価損失の影響などにより550百万円（前年同期は営業利益1,206百万円）となりました。

（電子デバイス事業）

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。

サーモモジュールを使う温調シートが搭載される高級車がモデルチェンジの端境期を迎えたため、主力の自動車温調シート向けサーモモジュールの売上が一時的に減少しましたが、民生機器向けやバイオ関連向け等の売上の増加でカバーすることができました。

この結果、当該事業の売上高は1,150百万円（前年同期比35.0％減）、営業利益は59百万円（前年同期比81.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

＜資産＞

当第１四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末と比べ843百万円増加し、73,415百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加によるものです。

＜負債＞

当第１四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末と比べ280百万円増加し、38,665百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金の増加によるものです。

＜純資産＞

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ563百万円増加し34,750百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ327百万円減少し、当第１四半期連結会計期間末には9,233百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果得られた資金は679百万円（前年同期比2,070百万円減）となりました。これは税金等調整前四半期純損失672百万円に、主として減価償却費767百万円等の資金を伴わない費用、売上債権の減少額865百万円によるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動の結果使用した資金は996百万円（前年同期比1,201百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動の結果使用した資金は368百万円（前年同期は1,621百万円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当社グループの属するエレクトロニクス産業及び太陽電池業界は、引き続き厳しい状況が予測されますが、現時点において平成24年５月18日の発表の平成25年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては平成24年５月18日公表の業績予想を据え置いております。今後の状況については、進捗状況を随時確認し、見直しが必要な場合には、速やかに開示してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,560,891	9,233,547
受取手形及び売掛金	13,921,317	13,902,485
商品及び製品	3,950,270	4,397,631
仕掛品	1,559,372	1,799,540
原材料及び貯蔵品	6,478,241	6,131,987
その他	6,007,468	5,918,351
貸倒引当金	△147,413	△165,594
流動資産合計	41,330,148	41,217,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,279,302	5,411,996
機械装置及び運搬具（純額）	7,205,744	7,687,704
工具、器具及び備品（純額）	4,813,678	5,788,979
土地	2,718,278	2,722,377
リース資産（純額）	181,736	196,144
建設仮勘定	5,198,526	4,555,523
有形固定資産合計	25,397,268	26,362,726
無形固定資産		
のれん	1,118,475	1,050,139
その他	1,250,220	1,277,814
無形固定資産合計	2,368,696	2,327,954
投資その他の資産		
その他	4,043,545	4,107,241
貸倒引当金	△568,112	△600,617
投資その他の資産合計	3,475,432	3,506,623
固定資産合計	31,241,397	32,197,304
資産合計	72,571,546	73,415,253

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,610,077	9,205,187
短期借入金	11,834,621	12,219,693
1年内返済予定の長期借入金	3,177,183	3,308,603
未払法人税等	361,387	152,419
賞与引当金	539,848	419,941
資産除去債務	15,400	－
その他	5,053,970	4,656,130
流動負債合計	29,592,489	29,961,974
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	200,000	－
長期借入金	5,856,448	6,012,858
退職給付引当金	141,956	161,102
役員退職慰労引当金	88,820	50,270
資産除去債務	77,788	80,255
その他	2,427,266	2,398,709
固定負債合計	8,792,280	8,703,194
負債合計	38,384,770	38,665,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,101,346	13,201,346
資本剰余金	13,703,254	13,803,253
利益剰余金	9,593,070	8,316,846
自己株式	△86,297	△86,355
株主資本合計	36,311,373	35,235,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212,980	139,080
為替換算調整勘定	△3,136,765	△1,470,760
その他の包括利益累計額合計	△2,923,784	△1,331,679
少数株主持分	799,186	846,671
純資産合計	34,186,775	34,750,083
負債純資産合計	72,571,546	73,415,253

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	18,810,520	9,503,225
売上原価	13,164,039	7,480,239
売上総利益	5,646,480	2,022,986
販売費及び一般管理費	3,264,617	2,493,859
営業利益又は営業損失（△）	2,381,863	△470,873
営業外収益		
受取利息	30,248	8,855
為替差益	75,580	112,897
その他	60,982	31,982
営業外収益合計	166,812	153,734
営業外費用		
支払利息	136,548	162,803
その他	51,273	74,393
営業外費用合計	187,821	237,196
経常利益又は経常損失（△）	2,360,853	△554,335
特別利益		
固定資産売却益	3,229	939
災害損失引当金戻入額	32,247	－
特別利益合計	35,476	939
特別損失		
固定資産処分損	7,698	7,408
投資有価証券評価損	8,884	108,370
災害による損失	11,716	－
任用契約一括償却損	173,122	－
その他	18,899	3,798
特別損失合計	220,321	119,578
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,176,008	△672,973
法人税等	560,990	△16,219
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,615,018	△656,754
少数株主利益	67,144	7,223
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,547,873	△663,977

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,615,018	△656,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,038	△73,899
為替換算調整勘定	629,786	1,690,303
持分法適用会社に対する持分相当額	10,645	15,458
その他の包括利益合計	649,471	1,631,861
四半期包括利益	2,264,490	975,107
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,175,653	928,127
少数株主に係る四半期包括利益	88,836	46,979

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	2,176,008	△672,973
減価償却費	670,082	767,339
のれん償却額	107,466	101,637
退職給付引当金の増減額（△は減少）	14,802	19,129
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,950	△38,550
賞与引当金の増減額（△は減少）	86,191	△138,998
貸倒引当金の増減額（△は減少）	77,504	9,304
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△94,275	－
受取利息及び受取配当金	△31,007	△9,827
支払利息	136,548	162,803
株式交付費	4,635	813
為替差損益（△は益）	△70,738	△161,079
持分法による投資損益（△は益）	△6,561	19,445
固定資産売却損益（△は益）	△3,229	△939
固定資産処分損益（△は益）	7,698	7,408
投資有価証券評価損益（△は益）	8,884	108,370
任用契約一括償却損	173,122	－
売上債権の増減額（△は増加）	△1,907,694	865,596
たな卸資産の増減額（△は増加）	△484,573	231,760
仕入債務の増減額（△は減少）	1,123,606	△318,376
その他	1,466,837	207,031
小計	3,457,259	1,159,894
利息及び配当金の受取額	32,052	16,400
利息の支払額	△139,065	△163,937
法人税等の支払額	△600,180	△332,669
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,750,065	679,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,154,338	△946,198
有形固定資産の売却による収入	46,965	5,829
投資有価証券の取得による支出	△494	△299
貸付けによる支出	△7,000	－
貸付金の回収による収入	4,729	2,386
その他	△88,393	△58,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,198,531	△996,672

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,128,141	48,467
長期借入れによる収入	5,850	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△987,899	△779,980
リース債務の返済による支出	△15,601	△23,211
自己株式の取得による支出	－	△57
配当金の支払額	△500,036	△612,437
少数株主への配当金の支払額	△4,743	－
その他	△4,635	△813
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,621,075	△368,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	160,114	357,672
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,332,724	△327,343
現金及び現金同等物の期首残高	7,310,916	9,560,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,643,640	9,233,547

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	装置関連事業	太陽電池関連事業	電子デバイス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	7,175,438	9,349,531	1,771,337	18,296,308	514,212	18,810,520	―	18,810,520
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	937,661	22,536	―	960,197	―	960,197	△960,197	―
計	8,113,100	9,372,067	1,771,337	19,256,505	514,212	19,770,717	△960,197	18,810,520
セグメント利益	765,142	1,206,884	327,372	2,299,399	104,030	2,403,430	△21,566	2,381,863

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△21,566千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	装置関連事業	太陽電池関連事業	電子デバイス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,453,958	3,260,098	1,150,756	8,864,813	638,412	9,503,225	―	9,503,225
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	114,717	―	―	114,717	―	114,717	△114,717	―
計	4,568,675	3,260,098	1,150,756	8,979,530	638,412	9,617,943	△114,717	9,503,225
セグメント利益又は損失（△）	36,233	△550,342	59,747	△454,360	2,486	△451,873	△18,999	△470,873

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額△18,999千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。
３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。